

ASEAN 月間企業動向レポート 2015年08月号

8月は対前年比 20.5%増。ベトナムとフィリピンが大幅増で牽引！

コンサルティングと調査の(株)プログレス アンド パートナーズ(本社東京)は、アジア地域への日系企業の進出動向を提供する自社調査サービス『経済 ReleaseWatch@アジア進出企業版』(アジア地域へ進出を準備・検討している企業情報提供サービス、<https://progressap.sakura.ne.jp/asadv/>)を運営するにあたり、収集した日次データをもとに2015年08月の日系企業の ASEAN 諸国への設立・進出・提携活動集計報告のサマリーをリリースした※1。

調査項目

2015年08月(2015/08/01~2015/08/30間の集計)での ASEAN 各国への日系企業動向(ASEAN 企業動向として収集した事案392件)より、「法人の設立」、「現地への進出」、「現地企業との提携」※2 に関する案件を独自集計した。

該当国

東南アジア9ヶ国(ブルネイは除く)。

集計結果

先月8月度の1ヶ月間を対象とした、弊社の独自調査による集計の結果、日系企業の「法人設立」「進出」「提携」と判断できる活動の合計が、ASEAN 9ヶ国合計で94件となった。

対前年比で20.5%増、対前月比で2.0%減と、経済活動が弱くなる8月としては、設立・進出・提携の件数の落ち込みが少ない結果となった。

国別では、ベトナムが26件でトップとなった(以下、タイ17件、フィリピン12件、ミャンマー11件、マレーシア10件、シンガポールが9件、インドネシア6件、カンボジア3件、ラオスが0件と続く)。

今回の特徴としては、ベトナムとフィリピンが大きく牽引したことが挙げられよう。昨今良く話題にあがるこの2カ国が、数字の上でも確認できる結果となった。

図1 各国別日系企業動向

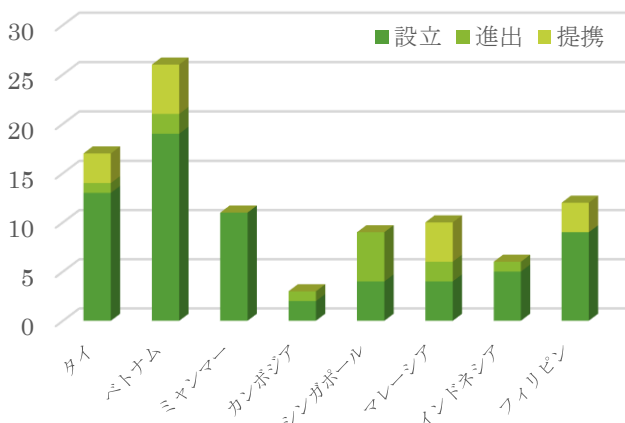


図2 各国別日系企業動向比率

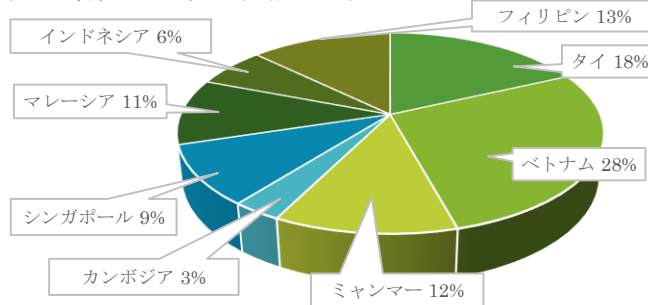
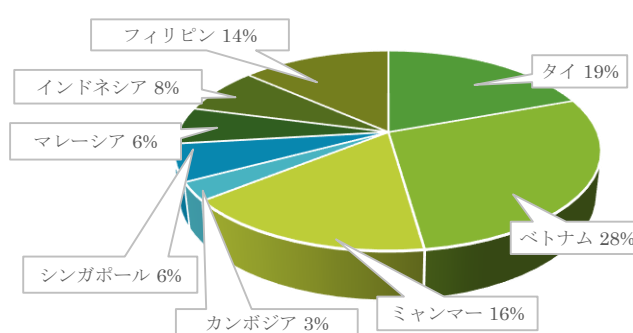


図3 各国別設立件数比率



※1 弊社の提供商品「経済 ReleaseWatch」を月次で集計・再構成した内容。

※2 当該事案発生日ではなく、情報を入手した日をもとに掲載。「設立」対象国に対し、新規に法人・駐在員事務所等を開設した件数。「進出」『設立』以外で、対象国に対し販売・開発・製造等の新たな活動をおこなった件数。「提携」現地企業と業務提携等をおこなった件数。

【本件に関するお問合せ先】 (株)プログレス アンド パートナーズ

URL: <http://www.progressap.com> Email: release@progressap.com